

Title	第五十三巻 第一号-第六号総目次：昭和三十五年上半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1960
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.53, No.6 (1960. 6) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19600601-0077

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十三巻 第一号、第六号 総目次 (昭和三十五年上半期)

論 説

インドの国際収支の型の変化について……………	矢内原 勝	一	一	通頁
賃金変動と就業構造 (一) — 賃金最低水準の成立過程と零細自営業主及び家族従業者群の存立条件 —……………	尾崎 巖	一	二四	二四
共産主義移行論……………	氣賀健三	二	一	一九
賃金と労働時間較差の年齢別特性……………	小尾恵一郎	二	一八	一三六
「常教」と主観価値論 — M・ドップの価値論観の一考察 —……………	持丸悦朗	二	四三	一六一
経済心理学における場の理論……………	中鉢正美	三	一	二二一
近代自然法の展開に関する一考察 (一)……………	野地洋行	三	二六	二三六
国有化産業における投資政策……………	丸尾直美	三	四二	二五二
農業恐慌と独占資本主義の確立 — 「一九世紀末農業恐慌—克服の条件」と二〇世紀初葉の経済恐慌の性格 —……………	常盤政治	四	一	三〇七
マルクスの相対的過剰人口論にかんする一考察……………	井村喜代子	四	三八	三四四
古ハワイにおける土地制度の変遷……………	野村兼太郎	五	一	四一七
イギリスにおける社会民主主義の形成過程 (その二)……………	飯田 鼎	五	七	四二三
—— 帝国主義の時期におけるイギリス労働運動と労働代表委員会 ——……………				

わが国の労使関係と労使協議制.....	藤林敬三	六	一	四九九
日本漁業の階層構成に関する一考察.....	高山隆三	六	八	五〇六
初期作品にみるトマス・モアの社会思想.....	渡辺和一郎	六	二三	五二一

資料

一九〇五—一九〇七年の第一次ロシア革命のドイツに及ぼした影響 ——ドイツ社会運動史にかんする最近の資料(三の一)——	飯田 鼎	一	六四	六四
ウィリアム・ゴドウィン研究文献(二)	白井 厚	一	八五	八五
第一次ロシア革命(一九〇五—一九〇七年)のドイツに及ぼした影響 ——ドイツ社会運動史にかんする最近の資料(三の二)——	飯田 鼎	二	五九	一七七
最近における漁家層の動向.....	高山隆三	三	六〇	二七〇
我が国における需要予測の現状——日本生産性本部需要 予測研究会の推定	佐藤 保	四	六八	三七四
最適投資の計画——フランス電力の場合——	原 豊	五	二九	四四五
ウィリアム・ゴドウィン研究文献(三)	白井 厚	六	三七	五三五

学 界 展 望

最近における《自由》の研究をめぐって.....	白井 厚	三	七三	二八三
我が国における「社会主義制度下の商品生産と価値法則」論.....	平野 紇子	四	八八	三九四

経済変動と人口.....	渡辺 国広	六	四五	五四三
--------------	-------	---	----	-----

書 評

ハイマン・カプリン編著『明治労働運動史の一齣——高野房太郎の生涯と思想——』	飯田 鼎	一	九四	九四
A・B・コール「日本中小企業の政治動向」	佐藤 芳雄	一	九九	九九
R・ケプナー『アダム・スミスと産業革命』	渡辺 国広	一	一一〇	一一〇
E・ズルツ著『快樂の礼讃』	渡辺 和一郎	二	七七	一九五
O・ウイルソン『重商主義——解釈の変遷——』	渡辺 国広	二	八三	二〇一
F・ペリリ共著『労働党と政治』	飯田 鼎	三	八五	二九五
ヘンリー・ベリング著『労働党と政治』	飯田 鼎	三	八五	二九五
R・M・フォックス著『ジ・ム・ラーキン』	飯田 鼎	四	九四	四〇〇
エムリス・ヒューズ著『ケーア・ハーディ』	飯田 鼎	四	九四	四〇〇
ラーヤ・ドウナイエフスカヤ『マルクス主義と自由——一七七六年から今日まで』	野地 洋行	四	一〇〇	四〇六
田中惣五郎著『北一輝——日本のファシストの象徴』	飯田 鼎	五	四三	四五九
チェックランド『発展と進歩』	渡辺 国広	五	四九	四六五
『講座 社会保障 2 日本経済と社会保障』	庭田 範秋	五	五二	四六八
国崎裕著『生命保険』	庭田 範秋	五	五六	四七二
S・バラバニス『計量経済学』	西川 俊作	五	六二	四七八
R・ヌルクセ著『貿易と発展の諸形態』	大西 昭	五	六六	四八二
ジョン・マイルド著『戦後英国の経済政策』	九尾 直美	五	七二	四八八

新刊紹介

E・H・P・ブラウン著『イギリス産業関係の発展—一九〇六年から一九一四年の立場からの研究』……飯田鼎 六 五三 五五一
 ヴァンス・バックランド著『地位を求めん人々』……石坂巖 六 五九 五五七
 アブダル・カイラム著『最適価格の理論と政策』……古田精司 六 六三 五六一

『近代日本思想史講座』……島崎隆夫 四 一〇六 四一二
 A・C・L・デイ著『貨幣の経済学』……村井俊雄 四 一〇六 四一二
 地方史研究協議会編『日本産業史大系』……尾城太郎丸 四 一〇七 四一三
 平井新著『社会思想史研究』……白井厚 四 一〇八 四一四
 高村象平著『ドイツ・ハンザの研究』……渡辺国広 四 一〇九 四一五
 増淵龍夫著『中国古代の社会と国家』……平野絢子 五 七八 四九四
 安永武巳著『消費経済学、日本の消費構造と需要予測』……佐藤保 五 七八 四九四
 『社会経済史大系』……寺尾誠 五 七九 四九五
 気賀健三著『ソビエト経済の研究』……丸尾直美 五 八〇 四九六
 エウジエニオ・ガレン著『イタリアのヒューマニズム』……渡辺和一郎 五 八一 四九七
 清水純一著『イタリヤのヒューマニズム』……渡辺和一郎 五 八一 四九七
 シュムペーター著『経済分析の歴史 6』……福岡正夫 六 七二 五七〇
 東畑精一著『経済分析の歴史 6』……福岡正夫 六 七二 五七〇
 チャーミン・リッ著『中共経済の成長分析』……平野絢子 六 七二 五七〇
 石沢元晴・前田寿夫訳『日本現代史』……寺尾誠 六 七三 五七一
 ソ連科学アカデミー版『日本現代史』……寺尾誠 六 七三 五七一
 山本正美・小野義彦訳『日本の産業と独占資本(上・下)』……北原勇 六 七四 五七二
 産業経済研究会編『日本の産業と独占資本(上・下)』……北原勇 六 七四 五七二
 コズルフ・ベルグソン編『経済学小辞典』……白井厚 六 七五 五七三